

先日行いましたアンケートにご協力をありがとうございました。結果について概略をお知らせします。表の中の「ABCD」はそれぞれアンケート用紙の「よく出来ている(そう思う)・大体出来ている(大体そう思う)・あまり出来ていない(あまりそう思わない)・出来ていない(そう思わない)」に対応しています。表では「A+B」と「C+D」に分けて回答の割合をパーセントで表しました。また、最後の自由記述欄にもたくさんの方が具体的なご意見やご感想を書いていただきました。教職員で結果を共有し、今後の取組の参考にいたします。ありがとうございました。

## 確かな学力

### 友達とかかわるよさに

「グループで友だちと協力して取り組む」「友達と協力すると学習に役立つ」などの回答では、9割以上がそう思うと答えています。「人間関係力」の育成を目指してきた中で、子どもたちがかわるよさを実感しているのはうれしいことです。「話をよく聞き」、「考えを持ち」、「協力しあいながら」、学びの質をたかめていけるように取組を深化させていきたいと思っています。

また、「対話の時間」や「葵 college」など、つけたい資質・能力である「人間関係力」「自己評価力」を育てるための取組を今後も継続、発展させ、他者との対話力を高めながら、自らの思考や感情・願いに向き合い、「自分らしさの発見」につながるように、改善を進めていきます。

### 課題解決に向けて

一方で、「自分の考えや意見を進んで」や「よりよい読書習慣」でやや低い回答になりました。授業の中で、「主体的・対話的で深い学び」につながる活動を様々な場面・方法で工夫して進め、また、図書館活用に積極的につながる授業づくりや探究活動に取り組みたいと思います。

家庭学習については、今年度「いきいき家庭学習」を学年に応じた形で取り組み始めました。子どもが自主的・意欲的・探究的に学ぶ習慣を身につけることができるように、一層保護者の皆様とも連携してよりよい家庭学習をつくっていききたいと思っています。

自学自習の習慣	保護者	85%	15%
自分の考えをもつ	保護者	89%	11%
勉強はよくわかる (基礎学力の定着)	高学年	92%	8%
	低学年	97%	3%
	保護者	90%	10%
自分の考えや意見を すすんで出す	高学年	59%	41%
	低学年	76%	24%
	保護者	78%	22%
話をよく聞く(友達・先生)	高学年	92%	8%
	低学年	91%	9%
	保護者	80%	20%
めあて(課題)がわかる めあてに向かう	高学年	88%	12%
	低学年	93%	7%
グループで友だちと協力する	高学年	94%	6%
	低学年	96%	4%
友だちと協力することは、学習 に役立つ	高学年	92%	8%
	低学年	95%	5%
いきいき家庭学習を進んで取り 組む	高学年	81%	19%
	低学年	95%	5%
	保護者	79%	21%
読書週間	高学年	64%	36%
	低学年	80%	20%
	保護者	64%	36%



## 健やかな体

### 心も体も…

子どもは家庭で規則正しい生活をしようと努力しているのを感じるものの、高学年では、生活の乱れを自覚しているようです。保護者の方々のご協力をいただきながら、子ども達が力いっぱい学校生活を送ることができるように、支援していききたいと思っています。

ウイルス感染拡大防止のための措置の中で、改めて身体を動かすことが体力はもとより、気持ちの面でも大切なことに気づかされました。体育科の授業や学級活動、学校行事等で子ども達の運動欲求に応えながら、心身共にたくましい葵の子を目指していきたいと考えています。

登下校時などの安全	高学年	96%	4%
	低学年	95%	5%
	保護者	94%	6%
規則正しい生活 (早ね・早起き・朝ごはん)	高学年	69%	31%
	低学年	84%	16%
	保護者	85%	15%
遊びやスポーツ 身体を動かす	高学年	81%	19%
	低学年	95%	5%
	保護者	75%	25%

## 学校と連携

### 目指す方向をすり合わせて

子どもの様子について、今後も学校と保護者の皆様が情報交換を密にすることで、多面的に子どもの姿を理解して取組を進めていきます。評価でいただいた意見や家庭訪問、懇談会等でのお話を生かしながら、連携をより深めていききたいと思っています。

学校のことを話す	保護者	93%	7%
学校や担任と連携	保護者	95%	5%
学校から情報を発信	保護者	97%	3%
学校は人権を守る。	保護者	98%	2%
学校は分かりやすい授業	保護者	96%	4%



学校やクラスは楽しいですか。	高学年	96%	4%
	低学年	99%	1%
友だちとなかよく	高学年	97%	3%
	低学年	97%	3%
	保護者	99%	1%
自分のよさにきづく (良さを伸ばすかわり)	高学年	81%	19%
	低学年	92%	8%
	保護者	87%	13%
進んできもちよいあいさつ	高学年	83%	17%
	低学年	88%	12%
	保護者	85%	15%
正しい言葉づかい	高学年	86%	14%
	低学年	85%	15%
	保護者	87%	13%
自分や人の気持ちを大切にしていますか。	高学年	94%	6%
	低学年	95%	5%
きまりや約束を守る	高学年	90%	10%
	低学年	92%	8%
	保護者	94%	6%
ものを大切に	高学年	89%	11%
	低学年	95%	5%
	保護者	81%	19%
学校をきれいに	高学年	88%	12%
	低学年	96%	4%
いじめを許さない心情が育っている。	保護者	97%	3%
子どもが自信をもつように、家庭では子どもの良い面をのばそうとしている。	保護者	90%	10%

## 豊かな心

### 楽しいが一番！

「学校が楽しい」、「友達となかよし」の項目が高いのは、子ども達の豊かな心の醸成に直接つながっていると考えられ、うれしい傾向です。「対話の時間」に加え、全校集会・学活・道徳などでのソーシャルスキルや異学年集団での指導(「きりりタイム」)を継続して進めてきた成果であり、さらに取組を精査して改善していきたいと考えています。

一方で「自分のよさにきづく」ことができにくい子どももいます。高学年では、担任をはじめ、教職員全体で一人一人の思いを十分にくみ取り、学校生活のあらゆる場面で、成就感や達成感が味わえるように言葉かけをしながら取組を進めたいと思います。

### 学校・家庭・地域の力を合わせて葵の子どもを

見守り隊の方々や PTA の々々による、登下校の見守り活動の際、また、地域行事やご町内での活動の際では、子ども達がよりよい挨拶や言葉遣いを考える場となり、人間関係を豊かにする様々な場面を経験させていただいています。今後どうぞよろしく願いいたします。